

## 東京グリーンビルディング国際フォーラム

～低炭素時代の建築物：さらなる省エネに向けた世界の動き～

建築物で消費されるエネルギーは、世界全体のエネルギー消費の大きな割合を占めており、アジア地域においては、急速な経済成長や都市化により、今後都市の建築物におけるエネルギー消費の増大が懸念されています。都ではこれまで、キャップ&トレード制度や建築物環境計画書制度など、低炭素都市づくりに向けた先進的施策を展開し、建築物の省エネ化を推進してきましたが、こうした政策は世界各地で着実に進展しており、それに伴い省エネルギー・低炭素型の建築物の建設、改修が進んでいます。

低炭素化への道は、世界と協働して進める必要があります。そのためにも、都は、建築物の低炭素化・省エネ化を推進し、積極的に建築物の省エネ対策に取り組む世界の諸都市と交流してきましたが、このたび、C40 世界大都市気候先導グループとともにC40東京ワークショップを実施し、その成果を含めて、本日の「東京グリーンビルディング国際フォーラム」を開催することができました。

本日は、建築物の省エネ化に向けた世界の動向、各都市の優良事例や民間事業者との連携の実際を、国際的な専門家や、政策を先導する都市からご紹介いただき、さらなる低炭素化にむけて皆様とともに考えていきたいと思っております。

主催：東京都

共催：C40世界大都市気候先導グループ

協賛：一般財団法人建築環境・省エネルギー機構（IBEC）、  
持続可能な開発のための世界経済人会議（WBCSD）  
世界グリーンビル協会（WGBC）

メディアパートナー：Bloomberg Businessweek



WORLD GREEN BUILDING COUNCIL

Media Partner

**Bloomberg  
Businessweek**

**東京グリーンビルディング国際フォーラム**  
 ～低炭素時代の建築物：さらなる省エネに向けた世界の動き～

平成26年6月20日（金）  
 東京都庁第一本庁舎5階 大会議場

《プログラム》

時 間	内 容
13:30~13:45	挨拶 東京都 舛添 要一 開会スピーチ 建築環境・省エネルギー機構 村上周三理事長
13:45~14:15	基調講演1 建築物省エネの経済効果 ジョンソン・コントロールズ社 バイスプレジデント クレイ・ネスラー氏
14:15~14:45	基調講演2 新築・既存建築物のベストプラクティス政策 グローバル・ビルディング・パフォーマンス・ネットワーク <sup>(1)</sup> エグゼクティブ・ディレクター ピーター・グラハム博士
15:00~15:10	C40からのメッセージ 気候変動対策で期待される都市の役割と C40 C40世界大都市気候先導グループ グローバル・イニシアティブ・ディレクター テリー・ウィルス
15:10~16:10	パネルディスカッション1 建築物省エネ政策、世界の都市のベストプラクティス パネル： サンフランシスコ環境局 プログラム・スペシャリスト バリー・フーパー氏 シンガポール建築建設局 グリーンビルディング政策ディレクター セリーヌ・ペー 東京都環境局 国際環境協力担当課長 千田 敏 C40代表 テリー・ウィルス モデレーター：ピーター・グラハム博士
16:10~17:15	パネルディスカッション2 更なる建築物省エネにむけた民間スティックホルダーとの協働と政策 パネル： シドニー市 サステナビリティプログラムユニット マネージャー トム・ベルシャム 東京都環境局 排出量取引担当課長 宮田 博之 世界グリーンビル協会 <sup>(2)</sup> CEO ジェーン・ヘンリー WBCSD <sup>(3)</sup> 建築物省エネ・プロジェクト・ディレクター ローランド・フンツィカー モデレーター：東京都環境局 西田裕子

- (1) グローバル・ビルディング・パフォーマンス・ネットワーク (Global Building Performance Network)  
 建築分野におけるGHG排出削減のため、ベストプラクティスを集め普及させる世界的なネットワーク
- (2) 世界グリーンビル協会 (World Green Building Council)  
 100を超える国のグリーンビル協会のネットワーク組織。メンバーであるグリーンビル協会を支援・強化し、グリーンビルの普及、グリーンビル市場に影響力を発揮し、建築産業をサステナブルなものに転換すべく活動。
- (3) WBCSD (World Business Council for Sustainable Development) 持続的発展が可能な社会の構築を目指す多国籍企業等で構成する組織。現在 200 社程度が加盟し、本部はスイスのジュネーブにある。日本では AGC 旭硝子他、18 社が参加。

## ■ スピーカー・プロフィール

### 村上 周三 工学博士

一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構 理事長



- 学 歴 1965年 東京大学工学部建築学科 卒業  
1967年 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程 修了  
1972年 工学博士（東京大学）
- 略 歴 1968年 東京大学生産技術研究所 助手  
講師、助教授を経て  
1985年 東京大学生産技術研究所 教授（～2001年）  
1999年 デンマーク工科大学 客員教授（～1999年）  
2001年 慶應義塾大学理工学部 教授（～2008年）  
2003年 東京大学名誉教授  
2003年 一般財団法人建築環境・省エネルギー機構 理事長（現職）  
2006年 中国 同济大学 顧問教授（～2009年）  
2008年 独立行政法人建築研究所 理事長（～2012年3月）  
2008年 慶應義塾大学大学院 SDM 研究科 特別研究教授（～2011年3月）  
2011年 慶應義塾大学大学院 SDM 研究科 特任教授（～2012年3月）
- 受 賞 日本建築学会賞（論文部門）（1989）「建築・都市環境工学に関する一連の研究」  
空気調和・衛生工学会賞（1975～2007 計 15回）  
アメリカ暖房冷凍空調学会（ASHRAE）ベストペーパー賞（CROSBY FIELD AWARD）（1998）  
アメリカ暖房冷凍空調学会（ASHRAE）ASHRAE Fellow Award（2001）  
SCANVAC the John Rydberg Gold Medal（2002）  
平成 15 年度日本風工学会学会賞（功績賞）（2004）  
SB07-SEOUL Award of Excellency in Research（2007）  
世界風工学会（IAWE）ALAN G. DAVENPORT MEDAL（2007）  
日本建築学会大賞（2014）  
「サステナブルな建築・都市の推進による地球環境問題緩和への貢献」 他多数

### テリー・ウィルス氏 (Ms. Terri Wills)

C40気候先導都市

グローバル・イニシアティブ・ディレクター



C40のイニシアティブとネットワークの立ち上げ、実施を担当。前職はロンドンのシティ・ディレクターとして、ロンドン市長の側近として気候変動緩和政策を策定。C40に加わる前には、カナダ・オンタリオ州のシニア政策アドバイザーとして、大規模なクリーンテックのデモンストレーション・ファンドの運営をサポート。創造産業の経済開発に関してアドバイスするコンサルタント、またロンドンにある英国の放送会社の戦略担当の主幹をも務めた。

ロンドン・スクール・オブ・エコノミクスから修士号、クイーンズ大学（カナダ）で政治学学士取得。

## ■ 基調講演者プロフィール

### クレイ・ネスラー氏 (Mr. Clay Nesler)

ジョンソン・コントロールズ社

グローバル エネルギー及びサステナビリティ担当

バイスプレジデント



ジョンコントロールズ社において、エネルギーとサステナビリティ戦略・政策・広報・イノベーションを統括、またジョンソン・コントロールズ・ビルディング・エフィシエンシー研究所の責任者。世界環境サステナビリティカウンシルの一員でもある。1963年に入社以来、アメリカとヨーロッパで研究、製品開発、マーケティング、戦略の様々な分野でリーダーシップを発揮してきた。また、世界環境センター副議長、省エネ経済に関するアメリカン・カウンシル副議長、北米・欧州-地中海省エネフォーラムの共同議長を務めており、省エネ国際アライアンス運営委員、そしてクリントン・グローバル・イニシアチブ建築部門のアドバイザーでもある。

イリノイ大学 機械工学学士・修士、11の発明特許（共同）を有する。2005年コルネット・グローバル・イノベーター賞、2012年VERGE 25賞を受賞。また、アメリカで6番目に長い歴史のあるフロレンティーン・オペラ・カンパニーのプレジデントも務めた。

### ピーター・グラハム氏 (Dr. Peter Graham)

グローバル・ビルディング・パフォーマンス・ネットワーク (GBPN)

エグゼクティブ・ディレクター

国連環境計画 (UNEP) のサステナブル・ビルディングと気候イニシアティブのテクニカルアドバイザー、コーディネーターを勤め、UNEPの建築分野における多くの主要プロジェクトや出版を立ち上げ、統括してきた。GBPNに加わる前は、ニューサウルウェールズ大学 (豪・シドニー) で建築設計学科長。これらの仕事で、公官民セクターと緊密に働き、サステナブルな建築、建設業へのグローバルな変革に尽力してきた。

GBPNに関する情報はウェブを参照：[www.gbpn.org](http://www.gbpn.org)



## ■ パネルスピーカー・プロフィール



### バリー・フーパー氏 (Mr. Barry Hooper)

サンフランシスコ市 環境局

グリーンビルディング・チーム プログラム・スペシャリスト

サンフランシスコのグリーンビルディングコードの策定と実施を統括するとともに、LEEDプラチナプロジェクトに対する優先許可制度を補佐。また既存の商業ビルの省エネ施策—毎年のエネルギー性能のベンチマーク報告とコスト・エフェクティブな改修に関するアクションプラン作成の義務付けを担当。

サンフランシスコ環境局に加わる前は、サンノゼ市でグリーン・ビルディング・コーディネーターを勤めており、シリコンバレー・エネルギー・ワッチ省エネプログラムを統括。

カリフォルニア大学サンタバーバラ校で、環境科学とマネジメントおよび地理学修士取得

### セレーヌ・ペー氏 (Ms. Serene Peh)

シンガポール建築建設局 (BCA)

グリーンビルディング政策課 副ディレクター

2030年までに建築物のストックの80%をグリーンにするというシンガポール政府の目標をサポートするため、建築物政策・イニシアティブの策定、実施をリードしている。グリーンビルディング・マスタープランを監督し、産業のインセンティブ・スキームの促進、年ごとのビル情報とエネルギー消費データを公開する義務付けの実施を統括。前職はBCAの戦略的政策局のアシスタント・ディレクター。建設の生産性向上を図示するロードマップを考案。リー・クワン・ユー公共政策校で行政学修士取得



### 千田 敏 (Chida Satoshi)

東京都環境局 国際環境協力担当課長

東京都庁に1996年入庁、知事本局を経て、環境局。2010年、中小事業所を対象とする報告書制度の創設を担当。また同年4月に開始された東京キャップ・アンド・トレード制度の対象事業所の調整に従事。

また、2011年4月に施行された排出量取引を統括した。2014年4月より現職、国際関係協力を担当している。





### トム・ベルシャム氏 (Mr. Tom Belsham)

シドニー市

サステナビリティ・プログラムユニット マネージャー

シドニー2030に沿って、主要な住宅、ビジネスセクターを対象に、環境性能の向上を目標としたさまざまな施策をリードしている。

2010年にシドニーに加わる前は、シドニーで、エネルギー効率サービス・プロバイダーとして、プライスウォーター・コーパーズや MBF Australia といった顧客のコンサルタントを務めた。NSW 大学で環境マネジメントの

修士、ワーウィックビジネススクールでビジネス・アドミニストレーションの電気工学士取得、技術士資格、エンジニアリング・テクノロジー学会メンバー

### ジェーン・ヘンリー氏 (Jane Henley)

世界グリーンビル協会

CEO



世界グリーンビル協会(WGBC)は 100 の世界中のグリーンビル協会(GBC)の協団体である。GBCはビジネス主導の組織であり、マーケットメカニズムを活用することで、ビルディング産業をサステナブルなものへと世界的に変革することを目標に活動している。WGBC はグリーン・ビルディング・マーケットを育成する最大の国際組織である。2007 年、マネジメント・コンサルタントの経験を買われてニュージーランド GBC のディレクターとなり、2010 年に CEO に就任。国連サステナブル・ビルディング・イニシアティブ理事会(UNEP-SBCI)の前ディレクター。経済、社会、そして環境の便益を実現する、健全な経済活動に裏打ちされたマーケットの変革促進に尽力している。



### 宮田 博之 (Miyata Hiroyuki)

東京都環境局 排出量取引担当課長

1988 年から 8 年間の民間企業の勤務を経て、1996 年に東京都庁に奉職。都庁では、下水道局、環境保全局（現 環境局）等を経て、2012 年に東京都地球温暖化防止活動推進センター長、2013 年 7 月から現職。

2002 年から主として地球温暖化対策に従事。日本初となる、総量削減義務と排出量取引制度の条例化、トップレベル事業所認定、特定排出ガス排出量算定・検証、都内中小クレジットなどの基準・ガイドラインの策定を担当。

## ロナルドフンツィカー氏 (Mr. Ronald Hunziker)

World Business Council for Sustainable Development (WBCSD)

建築物省エネプロジェクト、プロジェクト・ディレクター

WBCSD で建築物省エネプロジェクトを統括。地域の建築物に関するステイクホルダーの活動を通してファイナンス的に回収可能なエネルギー投資を活性化させることで、市場の変革への動きを推進することが目的である。

INSEAD (フランス) で MBA 取得、チューリッヒで歴史、政治学学士。前職は、国際赤十字委員会の代表として、コロンビア、リベリア、象牙海岸における武力紛争の現地における調整活動に従事。



## 西田 裕子 (Ms. Yuko Nishida)

東京都環境局 環境政策課

1998 年より環境局で気候変動、環境建築物、ヒートアイランド対策等の政策立案を担当。環境局以前は、建設局で都市再開発事業に従事、また国連大学でリサーチアソシエイト。ハーバードで行政学修士

